



第 18 号

平成 26 年 11 月 1 日 発行

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71
TEL 078-925-0860 FAX 078-925-0878

デザイン・印刷 株式会社 サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町 172
tel 079-284-1380 <http://www.salat.co.jp/>

けやき会とは：兵庫県立看護大学卒業生・兵庫県立看護大学大学院修了生、兵庫県立大学看護学部卒業生・兵庫県立大学大学院看護学研究科修了生、在学生、特別会員(旧現教員)を会員とし構成されている同窓会です。

けやき会HPリニューアルオープンお知らせ

けやき会HPをリニューアルオープンしています。

URL:<http://www.keyaki-kai.com/> E-mail:info2@keyaki-kai.com

内容の充実、管理情報の一元化とセキュリティの強化、電子媒体の利用によるコスト削減などを目的に、名簿管理や会報発行でお世話になっている株式会社サラトにHP開設を委託しました。コンテンツも充実しておりますので、ぜひご覧ください。



大学のイメージ

けやき会 会長 芝田 健 輔

けやき並木に落ち葉が舞い始めたこの頃、けやき会の会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。昨年の夏は、記録的な猛暑に見舞われたことが記憶に残っていますが、今年の夏は何といても台風の上陸と記録的な豪雨ではないでしょうか。毎年台風が発生し各地に被害をもたらしていますが、今年兵庫県を横断したことによって県内にも大きな被害が発生しました。災害と言えば東日本大震災を思い出しますが、今年はこの震災が発生してから3年が経過します。テレビを見ていると、「花は咲く、花は咲く」とこのメロディーが聞こえてきました。私はこのメロディーを聞かされた時に陸前高田の奇跡の一本松を思い出します。あの津波にも負けずに生き残った姿は被災者や私たちにも勇気を与えてくれたように思います。

さて、会員の皆様にとって兵庫県立大学看護学部と言えばどのようなシンボルや出来事が思い浮かびますか？私はやはりけやき並木です。春夏秋冬いつも明石看護キャンパスの前で学生生活を見守ってくれたように思います。他には、コンクリート打ちっぱなしの校舎、看護をモチーフにしたハートの学部章、開放的なカフェテリアなど思い出深いものはひとつひとつそれぞれあるのではないのでしょうか。卒業して就職したばかりの時は業務に慣れることに精

いっぱいであることが多いと思いますが、仕事に少し余裕が出てきた時には将来や自分の考えをじっくり考えたり、より専門的な研究をすることができる場でもあると思います。研究や将来について考える時に思い出すことは、授業中に先生方がいつかは大学に戻ってきてくださいねと話されていたことです。私は今も臨床の場で経験を積むことにやりがいを感じると同時に患者さんや家族と触れ合うことに楽しさを感じています。多くの先輩方や後輩がこの会報を読まれているかと思いますが、今、仕事や将来のことで悩まれている方がいましたらゼミの先生や興味のある分野の先生にコンタクトをとってみるのも解決策のひとつかもしれません。先生方や卒業生の交流については昨年春から櫛祭りの後に明石看護キャンパスでクラス会（同窓会）が開催されるようになりましたが、少しでも卒業生が大学に足を運ぶ機会が増えるようになればいいなと思いつつこれからも続けていこうと企画しています。

最後になりますが看護学部と聞いて思い出すのはこの元気のメロディー、兵庫県立看護学大学歌、兵庫県立大学看護学部歌です。看護学部のホームページでも聴くことができるようになっていますので、また一度ホームページものぞいてみてください。

「CNAS HYOGO、CNAS HYOGO、明日にとどける 今日の想いを」



けやき会の皆さま

兵庫県立大学看護学部長 内布 敦子

こんにちは、明石看護キャンパスからけやき会会員の皆さまにごあいさつ申し上げます。2014年4月から看護学部長をさせていただいております内布敦子です。忘れもしない1993年（平成5年）4月、1期生を真新しいキャンパスに迎えたとき、私はまだ30代でした。アメリカでの研修を終えて、3月末に明石に入り、最初の仕事はコンクリートの粉で白っぽくなった校舎の拭き掃除でした。1年生はとても元気で、大きな校舎でまばらな数の学生でしたが、スペースをあましながらも目をキラキラと輝かせていたのを覚えています。2期生、3期生、4期生の入学は、学生にとっても教職員にとっても待ち遠しく、やっと4回生まで全員揃ったときは、1期生はもう大人の顔になっていました。そのあとの怒涛のような17年間で修士課程、博士課程が次々と開設され、2004年には地域ケア開発研究所がキャンパス内に開設され、2014年4月からは、災害看護研究で世界をリードできる人材を育成するために新たに

5年一貫制の博士課程が開設されました。この間、兵庫県立看護大学は2004年兵庫県立大学看護学部となり、さらに2013年からは設置主体が県から公立大学法人へと移行しています。国の大型プロジェクトでは、2003年には文部科学省の21世紀COEプログラムに選定され、2012年には高知県立大学等との共同で博士課程教育リーディングプログラムに採択され、高度実践看護教育においては最も多くの専門看護師を輩出し、開学以来、看護界を牽引する大学として認められています。

どのように変化してもこの明石看護キャンパスは、かかわりのあったすべての人を受け入れ、いつでも皆さんのお越しをお待ちしています。けやき会のお部屋も6階の南東のお部屋を確保しました。学内けやき会事務局の担当者に言えば鍵を開けて使うことができます。同窓生のつながりは貴重です。皆さんがいつでも集えるような環境を整えていきたいと思っています。大学への要望もどうぞ遠慮なくお寄せください。

けやき会の今後の発展をお祈りします。

けやき祭

けやき祭の報告

3回生 植田 優希

5月18日（日）に開催された櫛まつりは、天候に恵まれたこともあり多くの地域の方にお越しいただきました。今年はステージや模擬店も建物内で行ったため、建物内の活気があったように感じられます。全体的には、看護の大学らしい専門的な内容を紹介しているブースなど他の学祭では見られないような個性的なものも多く、それぞれ工夫を凝らして面白かったです。実行委員会としては開催してみても様々な反省はありますが、無事に今年の櫛まつりを終えられたことを嬉しく思います。

櫛まつりの実行に向けて本格的に動き出したのは例年より遅めの3月頃でした。今年の学祭は前回までより少しは進化した櫛まつりにしたいと意気込んでいたものの、私も含めた実行委員会のメンバーほぼ全員が初めての仕事でしたので、何から手を付けていいのか戸惑いながらのスタートでした。

そんな中で自分の仕事に責任をもってやり遂げてくれたメンバーには本当に感謝しています。準備・開催にあたっては驚くほどトラブルがありました。外部の人も含めて学祭には沢山の人が関わっているので確認・連絡することも多く、確認ミスをして焦ることも多々あります。しかし、その度に大学の先生方や学務課の方々に、適切なアドバイスや優しいお声掛けをいただき何とか乗り越えることができました。

終わった後の反省会では実行委員みんなが改善点について真剣に考えていて、櫛まつりに対しての意識の高さを感じることができました。来年はまた新しいメンバーでの開催になりますが、今年より面白いものになる気がしています。都合が合う方は是非少しでも見ていただけると幸いです。

最後になりましたが、終えてみて感じたのは、櫛まつりは沢山の時間をかけて様々な人が関わってやっと成り立つものだという事です。櫛まつり開催に際しましてお世話になりました皆様には厚く御礼申し上げます。ご多忙の中お時間とお力添えをいただき、本当にありがとうございました。



5月18日 (日)
15:00 ~ 16:30

けやき会主催セミナー

香りとタッチで患者をケアする臨床アロマセラピーの世界 ～自然と人が織りなすホリスティックアプローチ～

ホリスティックケアジャパン代表 相原由花 先生 (学部14期生、博士課程在籍中)

本学部の卒業生であり、博士課程在籍中の相原先生にアロマセラピーについてお話していただきました。前半は様々な種類の精油について、またアロマセラピーの歴史や心身への影響、アロマセラピーとCarelについてなど、実際に精油を手にとらせてもらい、匂いを確認しながら講義を受けました。後半はペアになり、精油を用いてお互いにハンドマッサージを施術しあいました。「こんなにも相手にしっかりと触れることが自分自身幸せな気持ちになるのか、そして丁寧に思いを込めてマッサージしてもらうことはこんなにも気持ちの良い、幸せなものなのか」と感動の連続でした。講義の中で相原先生が「患者様が『マッサージを受けている最中は痛みや病を忘れられる』と話される」と仰っておられたことを、身をもって体験出来ました。学生や教員を始め地域の方々にもご参加いただき、終始和やかで熱心な時間となりました。



卒業生は今!?

急性期病院の看護師になって

兵庫県立大学4期生 塚本 夏実



私は看護師になって今年の春で4年目になりました。私の所属する病棟は整形外科と消化器内科の混合病棟で、元気になっていく患者さんもいれば亡くなっていく患者さんもいる職場です。初めは勉強も追いつかず理解できないことばかりでしたが職場の先輩にも恵まれてたくさんの指導を

してもらいながら、いろんな病気を抱える患者さんと関わってきました。整形外科では手術直後の全身状態の管理からケアの介助、退院に向けての指導を行っています。患者さんが悩んだり努力している姿を見ながら看護師として出来ることを一緒に考え励まし、歩くことも出来なかった患者さんが自分で歩いて「ありがとう。」と笑顔で退院していく姿はいつも本当に嬉しい気持ちになります。消化器内科では、何度も入退院を繰り返すうちに状態が悪くなっていく患者さんを目の当たりにします。その中で患者さんが最期を迎えるために何を望んでいるか、残される家族と何度も話し合いながら日々患者さんと関わっています。状態が悪い患者さんと関わ

る時に怖い気持ちもありますが、少しでも楽でいさせてあげたい、少しでも家族に安心して欲しいと思いながら看護師としてはもちろんですが一人の人として患者さんのことを思いながら看護をするよう心がけています。周手術期、リハビリ期、看取り、急変など様々なことが起こる中で看護をしていますが、どんな時でも「自分の家族だったら。」と考えながら患者さんに接するようにしています。「担当があなたでよかったよ。」「ありがとう。」などたくさんの嬉しい言葉を患者さんからかけて頂く度に、一生懸命生きてよかった、と嬉しい気持ちになります。

気がつけば4年目になり今では新人指導をするようになりました。人に教えることは難しく悩む時もありますが、成長する新人さんを見ているとやりがいも感じます。自分が新人の頃に比べると様々な経験を経て、人に教えられだけの知識がついたんだなと自分自身の成長にも気付かされました。新人の頃は毎日の業務をこなすことで精一杯でしたが、今になると少し余裕も持てるようになり、勉強したことを臨床で経験し、知識が繋がることの面白さも実感できるようになりました。大変なこともたくさんありますが、患者さんや先輩看護師、医師などたくさんの人と関わりながら働けることが楽しく、看護師になってよかったと思っています。

今、感じること

兵庫県立大学 1 期生 安本 美幸



とを覚えています。

縁があり、卒業後すぐの4月から高校での臨時講師が決まり、翌年には正規の養護教諭として加西市の小学校へ勤めることができました。

色々な校種を経験させてもらい、まだまだ未熟ですが、今は中学校生活を楽しんでいます。生徒指導上の問題や、

けやき会の皆様、こんにちは。
卒業して早7年目、私は今、明石市の中学校で養護教諭として勤務させていただいています。自分が中学生の頃から、漠然と養護教諭になりたいと思っていましたが、大学4年生で受けた教員採用試験に失敗し、春から本当に働くところがあるのかも分からないまま、不安で卒業式を迎えたこと

不登校生なども多い学校のため、保健室で対応する生徒はそれぞれが、複雑な家庭環境や友人関係の問題を抱えて苦しんでいます。中学生という多感で、良くも悪くも大きく周りの人や環境に影響されやすい時期の子どもたちを前に、試行錯誤の毎日ですが、部活動や行事で発揮される子どもたちのパワーや、保健室での沈んだ顔が、ぱっと明るく変わった瞬間を見ていると、大変感動も大きく、やりがいや楽しさを感じています。

私生活では、今でも大学時代の多くの友達や先輩、後輩と繋がりがあり、友達の結婚、出産、育児をしている姿に、月日を経ていることを実感しています。それでも、会えば変わらずあの頃のように話をできることがとても嬉しく、またこの良い出会いの機会を与えてくれた大学に感謝しています。

これからも、人との出会いを大切に、繋がりを大切に、楽しく、もっともっと自分自身を成長させていきたいと思っています。

看護管理者になって

兵庫県立看護大学 2 期生 三谷千代子



う予定で生まれ育った神戸を離れましたが、外科・回復期リハビリテーション・内科と3部署の病棟経験を経た後、看護教育部において院内教育や人員配置業務に携わり気付けば17年、現在に到ります。

入職した頃は、人の人生に関わっている責任の重さを感じつつも、患者さんと同じ目標に向かって取り組む看護が楽しく充実した生活を送っていました。しかし時は高齢化社会、さらに医療安全が急に叫ばれて、現場はめまぐるしく変化し数年経った頃には多忙を極めていました。忙しすぎて医療に携わることが怖くなる時期もありましたし、仲間達は疲弊して次々と退職していきました。

ある夜勤の日、終了した点滴を自分で止めている患者さんがおられました。「ご自分で触らないでください」と言い

皆様こんにちは。2期生の三谷千代子です。私は現在大学院組織看護学1年目、同時に虎の門病院で管理看護師長として勤務しています。今年度初めに返って学び直したいと思い17年ぶりに学び舎に帰ってきました。

私は実習でお世話になった先生の勧めもあり、卒業後すぐに上京しました。3年とい

かけた私に「貴女は必ず19時には来てくれると思っていたからナースコール押さなかったよ」と笑顔で応えられました。遠慮してナースコールを押さず待っていた患者さんを見たときに、涙が止まらず何かがおかしい、なんとかしなければと思った、その頃から管理に興味を持ち始めたと思います。

実際管理職になり立場が変わると、自分の中での優先順位が変わっていくのに驚き戸惑いました。現場での価値観は目の前の患者さんが良くなるか否かですが、管理者は多くの患者さんにとって公平であることを意識し、時に目の前の人にサービスが提供出来ないこともやむを得ない判断をすることがあります。また問題が起こるとお金の問題と片付けてしまいがちな自分がいて、そもそも看護って何？管理って何？と思い悩みました。

その頃幸運にも母校で教鞭を執っておられる組織看護学教授の増野先生に出会い、とてもフランクなお人柄と、看護師という主軸をもってリーダーシップをとられている先生に魅了されました。増野先生の元であれば現場の抱える様々な疑問を打開出来るのではないかという強い思いから、一念発起進学しました。

今は遠方ではありますが、志の高い人達と関西弁で議論しあう時間がとても貴重で楽しいと感じています。今後も個性的な仲間と楽しく、支えあいながら、両立していきたいと思っています。

先生！お久しぶりです！！

“ダイビング”にチャレンジしました。

水谷 信子（兵庫県立大学名誉教授）

けやき会の皆様 こんにちは。2011年3月に定年退職しました老人看護学の水谷信子です。写真は昨年、太平洋の南の島パラオで、ダイビングのライセンスを取得した時の写真です。3年前の定年退職時、修了生の方が健康維持のためにスポーツジムグッズをプレゼントしてくれました。おかげさまで、そのグッズが、ダイビングのライセンスの取得につながりました。私は、定年退職後、甲南女子大学院看護学研究科の開設に参加し、今年の3月、退職しました。現在は大学院や看護協会の非常勤講師の仕事をしなが、元気で“アクティブ・エイジング（活動的な老い）”を楽しんでいます。

これまで、皆さんもご存じのように、私は、授業を通して、“老年期とはどのような時期なのか”“老年期を迎えている人々は老いとどのように向き合っているのだろうか”を考えてきました。そして、今、私自身、その「老い」と向き合っています。人間は、生きていくかぎり、時代と社会に関わりなく誰もが「老い」—エイジングを経験します。何千年の昔も今も、そして、これから何百年先も同じです。現在、

日本は国際的にみて、平均寿命だけでなく健康寿命も長く“私は健康”と考えている高齢者も多いといえます。しかし、自分の将来や老後に漠然とした不安を抱いている人は少なくありません。

昨年テレビで放映された“老人漂流社会”（2013年1月NHK）の番組では、自分の老後を、自らの手で選べなくなってしまった人たちの姿を描き、“終の住処”をもてない深刻な老後の現実を伝えていました。つまり、「自らの老後を自らで選ぶ」ということの難しさや大切さ、どうすれば「自分らしい“終の住処”を見つけ出せるのか、現実的な目線で、元気なうちから、他人事ではなく、自分の老後と向き合うことを考えさせられました。ぜひ、皆さんも家族の方と一緒に考えてみてくださいね。



けやき会の皆様 こんにちは

鵜飼 和浩（兵庫県立大学名誉教授）



私は一昨年大学を定年で退職し、今は週2日ほど整形外科医として医療に携わっています。病院では時々卒業生とお会いすることがありますが、皆さんそれぞれの場で生き生きと働いておられ本当にうれしく思います。また、引き続き非常勤講師として本学で2年生に疾病論（外科学）を教えています。

医療が凄まじい勢いで進歩していることを場で実感しながら、その新しい知識を今の学生の皆さんに出来る限り教授したく努力しています。親子以上に年の離れた若い学生を教えることは楽しく、気持的には若返っているつもりですが、現実的には年齢のギャップはいかんともし難いようで、思ったような反応が返ってこなかったり会話がかみ合わなかったりすることも多々あります（笑）。

開学から19年間の長きに亘って大学で働いてきましたが、今振り返ってみるとあつと言う間に過ぎ去った感じがします。21年目を迎えた今では卒業生・修了生も2,000人を超えました。今現在、臨床現場で働いておられる方、教員として後輩の指導にあたっておられる方、更なるキャリアアップを目指して進学や転職をされた方、家庭に入られた方、など色々な人生を歩んでおられることでしょう。中には現況に満足することなく、何かが違うと感じ、今後どのように進んでいけば良いのかと悩ん

でおられる方もいらっしゃると思います。迷うこと、悩むことは大いに結構だと私は思っています。けやき会のメンバーの皆さんはまだまだ若いです。色々チャレンジすることは決して回り道ではなく、人生経験を膨らませることにつながります。

私の退職パーティーの際、加治教授から音楽好きの私を交響曲になぞらえて「第一楽章は臨床医・医学研究者として、第二楽章は看護学の教育者として勤めてこられました、第三楽章ではどのような曲を奏でられるのか楽しみです。」とのご祝辞を頂きました。シューベルトの交響曲「未完成」は第二楽章で静かに終わっています。なぜその後の楽章を続けることをしなかったかについては諸説がありますが、第二楽章ですでに完成された音楽であったため、との説が有力です。私自身は第二楽章で完結することなく第三楽章に突入してもう早2年半が過ぎました。ベートーヴェンの交響曲「第九番」では第三楽章は静かで長いアダージオですが、私自身はアダージオのように静かで穏やかにはいかず、第一、第二楽章も完成せず、まだ少しあくせくと過ごしております。私の人生が第三楽章で完結するのか、またもう一波乱あって第四楽章の「オーフロイデ！」に突入するのかはわかりません。今までのそれぞれの楽章の中でその時々の良い経験もほろ苦い経験もしてきました。そして満足しています。皆さんも大いに迷い、悩み、そして時には冒険もして、豊かな人生を送られることを切に祈ってやみません。

それでは皆様、ごきげんよう。

大学から
お知らせ

老人看護領域からのお知らせ

1) 兵庫・老人看護事例検討会 (本学にて開催)

平成26年度

4月26日(土) 14時～16時: 開催終了

8月16日(土) 14時～16時: 開催終了

12月27日(土) 14時～16時

*原則、本学大学院の修了生を対象としています。

希望があれば、高見 (miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp) まで
問い合わせてください。

2) 認知症看護事例検討会 (本学にて開催)

平成26年度

4月12日(土) 10時～16時: 開催終了

7月12日(土) 13時～16時: 開催終了

11月1日(土) 10時～16時 事例検討会+交流集会
: 開催終了

3月7日(土) 13時～16時

*兵庫県看護協会の認知症看護認定看護師コース修了生が主体とな
って運営しています。臨床の方々のご参加も歓迎しています。
希望があれば、高見 (miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp) まで
問い合わせてください。

母性看護領域からのお知らせ

母性看護事例検討会

母性看護領域では、母性看護の実践において直面している事例に焦点を当て、その事例に関する問題や課題に対する具体的な解決を考えること、参加者自身の気づきや理解を深めることを目的に事例検討会を行っています。

卒業生・修了生の皆様はどなたでも参加可能です。事例を提供してみたい方や、参加してみたい方は、ぜひ下記までご連絡下さい。

日 程: 8月を除く、毎月第1水曜日

(今年度の開催日程: 12月3日、1月7日、2月4日、3月4日)

時 間: 18:30～(18:00開場)

場 所: 明石看護キャンパス 地下1階大会議室

会 費: 200円(資料及び茶菓子代)

連絡先: 母性看護事例検討会事務局(鎌田/川下)

【電 話】078-925-9441

【メー ル】naoko_kawashita@cnas.u-hyogo.ac.jp

大学院に新たな分野を開設しました!

平成27年から

【環境看護学】がリニューアルして【環境設計看護学】へ、
【看護教育学】がバージョンアップして復活し、看護基礎開
発分野が新たに立ち上がりました。

卒業生の皆さんは、臨床現場でバリバリとがんばっておられること
でしょう。

卒業生の多くは、臨床現場で病棟のリーダーとして、指導者の立場として臨床をもっとよくしたいと思って経験を積んでおられると思います。

- ・患者さんがよりよく回復していくためのケア環境や仕組みを考えたい
- ・もっと看護師がやる気を引き出せる指導ができないだろうか、看護が楽しいと思える継続教育について考えてみたい

・これまでの臨床経験を振り返り、看護師が行っているケア、看護がなせるわざをみつめてみたい
こんな疑問や関心をもちながら臨床で働いている人は、臨床を変えていく原動力となるために、ぜひ母校にもどって大学院で学んでみませんか?

話を聞いてみたい方、興味をもたれた方は、是非連絡をください。

連絡お待ちしております。

【環境設計看護学】

小西美和子 miwako_konishi@cnas.u-hyogo.ac.jp

【看護教育学】

岡田 彩子 ayako_okada@cnas.u-hyogo.ac.jp

大学院(博士前期課程)次世代看護リーダーコースのご紹介

看護学研究科では、平成25年度より新たに「次世代看護リーダーコース」を開講しています。本コースは、保健・医療・福祉などのさまざまな実践現場において看護を実践する中で、現状に問題意識を持ち、変化を起こしたいと考えている意欲ある看護専門職が、実践の場でリーダーシップを発揮していくために必要な能力を修得することを目指したコースです。

組織看護学領域と地域看護学領域が共同で開講しており、現在、1回生6名、2回生5名が在籍しています。必修科目を土曜日に開講するなど働きながら就学できるよう工夫していますので、多くの学生が仕事を続けながら学んでいます。仕事と勉学の両立はなかなか大変なようですが、皆イキイキと学んでいます。

カリキュラム等コースの詳しい紹介、在校生からのメッセージ等、ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。関心を持ってくださった方、まずは担当教員にご連絡ください。皆さんと一緒に学ぶことができるのを楽しみにしています!

Visit our website! <http://jisedainl.wix.com/jisedai>

組織看護学 増野園恵

sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp

地域看護学 牛尾裕子

yuko_ushio@cnas.u-hyogo.ac.jp

地域ケア開発研究所からのお知らせ

地域ケア開発研究所10周年記念事業

2014年12月で地域ケア開発研究所が開設10年を迎えます。開設10年目にあたり、10周年記念事業を開催いたします。これまで、地域ケア開発研究所を支えてくださった皆様に感謝の意を伝える記念式典と、10年間にわたる地域ケア開発研究所の活動を振り返りつつ、これからの

地域ケア開発研究所のあり方を考えるシンポジウムを開催する予定にしております。

日時：平成26年（2014年）12月13日（土）

プログラム：第一部 式典
第二部 シンポジウム

会報発行協力金協賛者一覧 （平成26年9月10日 現在）

■平成26年

特別会員

鵜飼	和浩
鵜山	治子
牛尾	裕子
内布	敦子
片田	範子
近澤	範子
松田	裕子
水谷	信子
南吉	本祥

平10

得平（新川）佐織
蓬 菜 節 子

平16

小巻 京子
徳田（山本）由美子

平17

安 藝 綾 乃

平18

水野 健司
宮城 十子
渡 邊 佳世

平22

上 原 多佳子

平23

白波 瀬 由 佳

平24

段 林 宏 美

平25

熊 野 葵

平11博前

岩切 真砂子
岡 田 ルリ子

平12博前

森 菊 子

平14博前

魚里 明子
松 枝 美智子

平15博前

鈴木 智津子
半 田 浩 美

平17博前

白石 佳子
仲 村 直 子

平18博前

永瀬（牛島）由紀子
玉田（三浦）田夜子

平19博前

朝熊（市本）裕美

平20博前

増田（熊井）秋穂

平24博前

中 野 宏 恵

平14博後

渡 辺 かづみ

平15博後

寒河江（野澤）美江子

平17博後

呉 小 玉
近藤（佐藤）麻理

平21博後

工 藤 美 子

皆様ご協力ありがとうございます。会報の一部に使わせていただきます。

けやき会からのご案内

平成26年度 けやき会 新役員名簿

平成26年度より、武内玲さん、兼田美佳さん、犬山知子さんが新役員となりました。

役員一同頑張っまいりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

会 長	芝 田 健 輔
副会長	東 知 宏、井 上 知 美
会 計	鎌 田 奈 津、藤 原 史 博
書 記	兼 田 美 佳、犬 山 知 子
庶 務	武 内 玲、森 舞 子

編集後記

18号目の会報を今年もみなさまの元にお届けすることが出来、嬉しく思います。紙面で懐かしの級友や先生方と再会出来ればと思い、お一人お一人の生の声を盛り沢山詰め込んでお届けしました。間が何年空いたとしても会えばすぐに「学生時代」に戻ることが出来る、そんな関係性がCNASの中で根強く築かれてきたことと思います。この会報が「そういえば、久しぶりにあの子に連絡してみようかな…」なーんてきっかけになってもらえると役員冥利に尽きるというものです。「あの子がいるから私も頑張れる」、CNASで生まれた絆をこれからもずっとずっと大切にしていきたいと願う今日この頃です。

兵庫県立大学看護学部同窓会 けやき会平成25年度決算書・平成26年度予算案

平成26年5月18日

【決算書】収入の部 (H25.4.1～H26.3.31)

費目	平成25年度決算額	備考
会費		
`98年度 修士卒	¥10,000	1人×¥10,000
`12年度 博士卒	¥10,000	1人×¥10,000
`13年度 学部卒	¥50,000	5人×¥10,000
`13年度 学部入	¥1,100,000	110人×¥10,000
`13年度 修士入	¥160,000	16人×¥10,000
`13年度 博士入	¥0	0人×¥10,000
雑収入	¥1,922	利子
学友会からの収入	¥554,647	平成24年度・平成25年度分
前年度繰越金	¥9,876,000	
収入合計	¥11,762,569	

【決算書】支出の部 (H25.4.1～H26.3.31)

費目	平成25年度決算額	備考
I ホームページ		
作成費・年間管理費	¥84,000	
II 樗まつり 総会・講演会		
案内印刷・郵送	¥226,421	
20周年記念事業補助金	¥243,316	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥200,000	
IV 事務		
消耗品費	¥12,408	
通信費	¥13,585	
V CNAS 基金への寄付		
寄付金	¥2,500,000	
VI その他		
振込費	¥1,050	
支出合計	¥3,280,780	

平成25年度決算残高	収入総計	¥11,762,569
	支出総計	¥3,280,780
	差引残高総計	¥8,481,789

平成25年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査 石原悦子 (印)
中野宏恵 (印)

【予算案】収入の部 (H26.4.1～H27.3.31)

費目	平成26年度予算案	人数	会費
会費			
`96年度 学部卒業	¥264,000	33	8,000
`97年度 学部卒業	¥520,000	52	10,000
`98年度 学部卒業	¥650,000	65	10,000
修士卒業	¥60,000	6	10,000
`99年度 学部卒業	¥220,000	22	10,000
修士卒業	¥100,000	10	10,000
`00年度 学部卒業	¥190,000	19	10,000
修士卒業	¥30,000	3	10,000
`01年度 学部卒業	¥280,000	28	10,000
修士卒業	¥0	0	10,000
`02年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
修士卒業	¥10,000	1	10,000
`03年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
`04年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
修士卒業	¥30,000	3	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`05年度 学部卒業	¥340,000	34	10,000
修士卒業	¥30,000	3	10,000
`06年度 学部卒業	¥200,000	20	10,000
修士卒業	¥50,000	5	10,000
`07年度 学部卒業	¥390,000	39	10,000
修士卒業	¥70,000	7	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`08年度 学部卒業	¥260,000	26	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
`09年度 学部卒業	¥770,000	77	10,000
修士卒業	¥40,000	4	10,000
`10年度 学部入学	¥140,000	14	10,000
修士入学	¥10,000	1	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
`10年度 学部卒業	¥160,000	16	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`11年度 学部入学	¥40,000	4	10,000
修士入学	¥0	0	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
`11年度 学部卒業	¥340,000	34	10,000
修士卒業	¥0	0	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`12年度 学部入学	¥40,000	4	10,000
修士入学	¥10,000	1	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
`12年度 学部卒業	¥290,000	29	10,000
修士卒業	¥0	0	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
`13年度 学部入学	¥20,000	2	10,000
修士入学	¥60,000	6	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
`14年度 学部入学	¥1,100,000	110	10,000
修士入学	¥110,000	11	10,000
博士入学	¥20,000	2	10,000
前年度繰越金	¥8,481,789		
収入総計	¥15,825,789		

【予算案】支出の部 (H26.4.1～H27.3.31)

費目	平成26年度予算案	備考
I ホームページ		
年間管理費	¥84,000	
II 樗まつり 総会・講演会		
案内印刷・郵送	¥300,000	
消耗品費	¥50,000	
講師謝金・交通費	¥30,000	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥200,000	
IV 事務		
消耗品費	¥10,000	
通信費	¥10,000	
V CNAS 基金への寄付	¥300,000	
VI 予備費	¥100,000	
支出総計	¥1,084,000	
収支差額	¥14,741,789	

兵庫県立大学看護学部同窓会 けやき会CNAS基金 平成25年度決算書

平成26年5月18日

【決算書】収入の部 (H25.4.1～H26.3.31)

費目	平成25年度決算額	備考
I 寄付		
寄付-1	¥8,675	
寄付-2	¥2,500,000	
寄付-3	¥10,000	
II 利息	¥162	
III 前年度繰越金	¥92,266	
収入合計	¥2,611,103	

【決算書】支出の部 (H25.4.1～H26.3.31)

費目	平成25年度決算額	備考
I 母校への寄贈	¥2,231,335	寄贈品(けやき植木、視聴覚機器、季節家電等)
II 事務		
消耗品費	¥1,488	
III その他		
振込費	¥945	
支出合計	¥2,233,768	

平成25年度決算残高	収入総計	¥2,611,103
	支出総計	¥2,233,768
	差引残高総計	¥377,335

平成25年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。

監査 石原悦子 (印)
中野宏恵 (印)